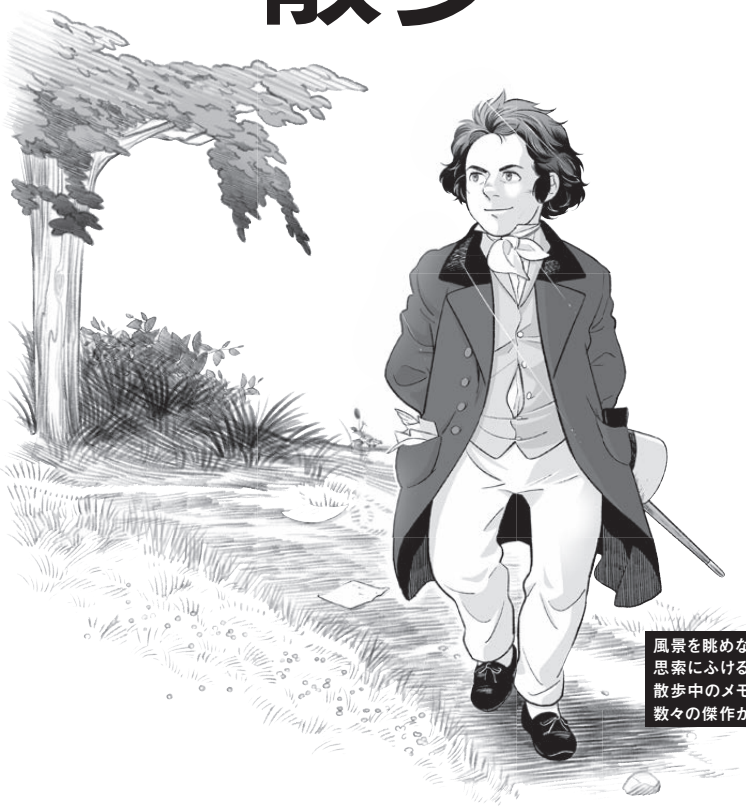
C
2026 NOVEMBER
［第2075回］

イラスト：IKE／文：松井治伸

「楽聖」ベートーヴェンのこだわり

散歩



風景を眺めながら
思索にふけるベートーヴェン。
散歩中のメモから
数々の傑作が誕生した

©IKE

ベートーヴェンは散歩が大好きでした。ウィーンの街中や郊外で、彼は散歩を欠かすことがありませんでした。必ず持っていったのが手帳です。散歩中にふとひらめいたメロディをメモして作曲に生かすためでした。時には次々と音楽が湧き出して散歩が長引き、食事の時間に遅れて家政婦を困らせたこともあったとか。ウィーン郊外のハイリゲンシュタットには、《交響曲第6番「田園」》ゆかりの散歩道が残っています。小川が流れ、緑に囲まれたこの場所で、ベートーヴェンは《田園》のインスピレーションを得たと言われています。散歩は言わば、彼の創造の源でした。